

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公表番号】特表2015-509815(P2015-509815A)

【公表日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-022

【出願番号】特願2015-500490(P2015-500490)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/06 (2006.01)

A 6 1 M 39/10 (2006.01)

A 6 1 M 39/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/06 5 0 0

A 6 1 M 39/10

A 6 1 M 39/24

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月5日(2016.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

ポート 3 0 は、カテーテルアダプタ 1 4 の側壁 3 2 から外側に延びる 1 以上の一体化した本体部を有するポート本体 3 6 を含むことができる。例えば、ポリカーボネート、ポリエチレン、ポリプロピレン、およびコポリエステルのような代表的なプラスチック材料が、ポート本体 3 6 を形成するために使用可能とされる。ポート本体 3 6 は、内腔 1 6 の入口 4 4 と開口 3 4 との間に延びる穴 4 8 を画定することができる。入口 4 4 および穴 4 8 の少なくとも一部は、雌型ルアー接続 (female luer connection) についての国際標準化機構 (ISO) の規格の少なくともいくつかに準拠した形状および寸法に作製され得る。これにより、雄型ルアースリップ (male luer slip)、即ち、雄型ルアーロック (male luer lock) がポート 3 0 に接続可能とされる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

図 2 は、図 1 のカテーテルアッセンブリ 1 0 の斜視上面図を示す。図示したように、ポート 3 0 は、セプタム 5 6 のスリット 5 8 を通じて挿入される雄型ルアー装置 (図 6 のルアーアクセスコネクタ 8 0 など) を用いて利用可能とされる。雄型ルアー装置がルアーロックを含む場合、雄型ルアー装置は、ルアーねじ 5 0 と連結することができる。このようにして、別個のアクセスデバイス (access device) は、その中を通じて流体連通を作るように、ポート 3 0 によりカテーテルアダプタ 1 4 に結合可能とされる。加えて、注射器、針、または他のそのような装置が、それを通して流体を引き抜くように、セプタム 5 6 のスリット 5 8 を通じて挿入可能とされる。